

資料

「大湫神明神社の大杉」の毀損について

【文化財の概要】

- ◎分 類 岐阜県天然記念物
- ◎所在地 大湫神明神社境内（瑞浪市大湫町 398 番）
- ◎指 定 昭和 31 年 6 月 22 日
- ◎概 要 大湫神明神社の社殿の前に生育する神社のご神木であり、大湫町のシンボルとしてしても知られています。
樹高約 40m、幹周約 11m、樹齡は 1200～1300 年と考えられています。
- ◎備 考 指定時の表記は「大杉」ですが、近年は「大スギ」の表記がなされます。

【毀損等の経緯】

- ◎経緯
 - ・ 7 月 11 日（土）10 時 25 分頃：大杉が根元から倒れる
 - ・ 7 月 12 日（日）0 時 00 分頃：毀損（倒木）の連絡がスポーツ文化課に入る
 - ・ 7 月 12 日（日）8 時 30 分頃：スポーツ文化課職員が現場を確認。
岐阜県（文化伝承課）に状況を報告。
- ◎現場の状況
 - ・ 大杉は根元から倒れており、神社の門や倉庫などを破壊している。
 - ・ 市文化財審議会員（天然記念物担当）の見解では、大杉を再生することは極めて困難であるとのこと。
 - ・ 道路の通行もできない状況であること、また危険も想定されることから、必要最低限の範囲で枝の伐採等を実施し、その後は現況保存。

【現地確認等の状況】

- ◎7 月 14 日（火）京都女子大学名誉教授・高桑進氏が現地を視察（倒木の原因究明（樹木の状況等の調査）目的）
- ◎7 月 16 日（木）、岐阜県の県産材流通課・森林研究所の職員が現地を視察
- ◎7 月 28 日に岐阜県樹木医会が現地調査（大湫コミュニティ提供情報）
- ◎他にも名古屋大学からの調査要望あり（年輪年代測定）

【地域における現況】

- ◎7 月 15 日に大湫コミュニティにて（仮称）「神明大杉」再生検討委員会議 準備会」が開催され、今後の方針等を協議。

◎7月22日に大湫コミュニティにて第1回「神明大杉」再生検討委員会議が開催され、今後の方針等を協議。次回は7月30日に開催予定。

【今後の見通し】

◎岐阜県文化財保護審議会委員から再生困難との見解が示されたため、県としては指定解除の意向を有している。所有者からの滅失届けの提出により事務手続きが進む見込み。

◎地域住民からは、新たに何らかの分野での文化財指定を希望する意見が出されており、検討を要する。

